

東京大学総合研究博物館 スクール・モバイルミュージアム

とう だい こん ちゅう かん

# 東大昆虫館

展示企画：矢後勝也・遠藤秀紀



期間：2017年6月10日(土)～10月14日(土) 9:00～17:00 (日曜・祝日休館)

会場：文京区教育センター 2F 大学連携事業室 (文京区湯島4-7-10) TEL: 03-5800-2591

後援：環境省関東地方環境事務所、日本昆虫学会、日本鱗翅学会、日本蝶類学会、日本蝶類科学学会、昆虫DNA研究会、NPO法人日本チョウ類保全協会、  
ファール昆虫館「虫の詩人の館」、日本蝶類研究所

東京大学総合研究博物館 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>

文京区教育センター <http://www.bunkyo-tyo.ed.jp/ed-center/>

## 昆虫学者によるおはなし会・イベント

6月24日(土) 14:00～ 矢後勝也 (東京大学総合研究博物館・助教)

7月8日(土) 14:00～ 尾本恵市 (東京大学・名誉教授)

7月29日(土) 9:30～ 矢後勝也 (東京大学総合研究博物館・助教)

8月26日(土) 14:00～ 矢後勝也 (東京大学総合研究博物館・助教)

9月30日(土) 14:00～ 藤岡知夫 (日本蝶類研究所・所長)、奥本大三郎 (ファール昆虫館「虫の詩人の館」・館長) ほか



# 東大昆虫館

展示企画：矢後勝也・遠藤秀紀

主催：東京大学総合研究博物館

共催：文京区教育センター

後援：環境省関東地方環境事務所、日本昆虫学会、日本鱗翅学会、日本蝶類学会、日本蝶類科学学会、昆虫 DNA 研究会、NPO 法人日本チョウ類保全協会、ファール昆虫館「虫の詩人の館」、日本蝶類研究所

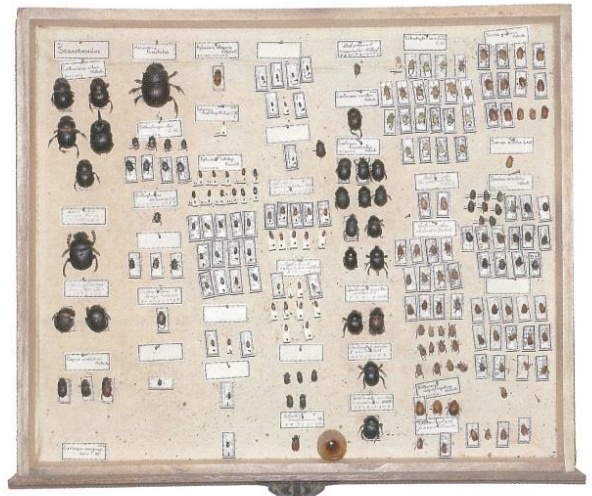
協力：蟻川謙太郎、五十嵐昌子、石塚詩織、井上暁生、小川結子、三枝豊平、谷尾 崇、二橋 亮、鎌倉正人、堀江洋成

広告デザイン：原田一志

昆虫とは、時に身近で親しみやすく、時に可憐で美しく、時に忌み嫌われる存在です。人の感性を揺さぶるこの生き物は、色や形、大きさ、動きが環境に合わせて実に様々です。今回の展示では、別の種どうしはもちろんのこと、同じ種の中でも何一つ全く同じ形や模様のない昆虫の多様性を体感できます。また、昆虫の多様性を生み出した進化や発生の過程、近年の生態系破壊や地球温暖化などの影響を受ける昆虫の変化も解説します。東京大学ならではの歴史的標本にも触れることで、現代の子供達に昆虫への科学的な探究心を抱いてもらえたら幸いです。



環境省「種の保存法」国内希少野生動植物種のチョウ



明治期の佐々木忠次郎コレクション（甲虫）

## 【おはなし会・イベント】

会場：教育センター2階研修室

- ① 6月24日（土） 14:00～15:00 「東京大学の昆虫標本とは？」 矢後勝也（東京大学総合研究博物館・助教）
- ② 7月8日（土） 14:00～15:00 「アフガニスタンの幻のチョウを追う」 尾本恵市（東京大学・名誉教授）
- ③ 7月29日（土） 9:30～12:00 「こんちゅう野外教室」 矢後勝也（東京大学総合研究博物館・助教）
- ④ 8月26日（土） 14:00～15:00 「虫にまつわる愉快なお話」 矢後勝也（東京大学総合研究博物館・助教）
- ⑤ 9月30日（土） 14:00～15:00 「文の京に棲む虫の巨匠たち」 藤岡知夫（日本蝶類研究所・所長）、奥本大三郎（ファール昆虫館「虫の詩人の館」館長）ほか 司会：矢後勝也（東京大学総合研究博物館・助教）

対象：①②④⑤どなたでも、③区内在住・在学の小・中学生（小学1・2年生は保護者同伴）

定員：①②④⑤90人（先着順）、③25人（先着順、当日は集合後に東京大学構内へ移動）

申込方法：①②④⑤申込不要、③電話で下記へ（7月10日から受付）

費用：①②④⑤ 無料、③ 80円（保険料）

URL: 東京大学総合研究博物館 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>

文京区教育センター <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/ed-center/>

開催場所：文京区教育センター 2F 大学連携事業室（文京区湯島 4-7-10）

TEL: 03-5800-2591

展示期間：2017年6月10日（土）～10月14日（土）

9:00～17:00（日曜・祝日休館）

入場料：無料

アクセス：地下鉄千代田線「湯島」駅より徒歩8分、

地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩10分

